

標準技術を相互活用した情報連携環境

-グローバル生産における中小企業支援システムに関する研究-

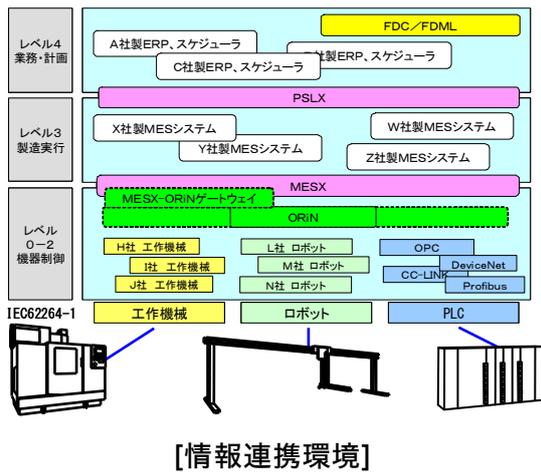
●背景

- ・ 標準技術は業界毎に策定されがち
- ・ 製販一体化や改善活動支援のための IT 化が困難
- ・ IT 化を容易にする情報連携環境が必要

●目的

- ・ 標準技術を相互活用した業務計画レベル、製造実行レベル、および機器制御レベル間の**情報連携環境と応用システム**の提案

●研究概要



[情報連携環境]



[応用システム例]

●研究成果

- ・ 新・旧工作機械を標準技術に接続する機器・ソフトを製品化
- ・ 標準技術活用ビジネス研究会で応用研究を実施中



ADDO F2008
ORiNバージョン
KEIRIN



ADDO N8511
プロトコル変換機



WinDNC-SE
ORiNバージョン



M11



ORiN2 SDK

本システムは一般財団法人 機械振興協会 技術研究所が、

競争の補助により実施した研究成果の一部です。

お問い合わせ先： 企画管理室（担当：木村利明）
TEL：042-475-1155 FAX：042-474-1980
kimura@tri.jspmi.or.jp

